

NO.	コメント
988	私はPTAを選出する保護者会にはでないという少々後ろめたいやり方をしています。そもそも本当に必要なんでしょうか？ 最近では働いているお母さんがたも多い中、時代にそぐわない気がします。
991	限りある人生、1分、1秒たりとも無駄だと思われる時間を、すごしたくない。 自分の人生の優先順位を、赤の他人に強制されたくない。
994	今年役員になり活動内容をみてみると、学校側がやるべき仕事の下請け。正社員として働いている人に平日の午前中の集会を強要。「できることをできるときに」の主旨の団体へ変革すべきだと思う。
995	持病があり、役員を断ったら、前PTA 役員に(この人正気?)と疑いたくなるような言葉を浴びせられ、その日を境に近所のママから無視、子供も遊んでもらえなくなりました。理解に苦しむ組織です。
	任意だと発表するとやめる人が多数出てきて困るから任意だと公表しないというのなら、やめたいと思わないPTAに変えればよいだけです
999	PTAのするべきことは任意を隠すことではなく、保護者にやめたいと思われないようにするにはどうしたらよいかを考えることです 多数がやりたくない、やめたいと思っているPTAの活動内容が問題なのです。任意だと発表しても保護者がニコニコしながら集まってくるPTAこそ理想です
1004	「人の役にたいたい」「誰もやらないなら自分が」というプラスの動機には「自分が有用、有能だと感じたい」というマイナスの動機に通じてるだから自分が役付になると「もっと地域の見守りに皆でこなくちゃ」「親がいっかり見守ることで子どもが育つ！私頑張ってやっている、偉い！なんで皆協力的じゃないのかしら！」と他をみてくださいになる。これは公務員にもありがちな集団心理だとおもう。 周りが「なくなればいいのに」と思う一因でもある「おせっかいと上から目線、押し付け」の出来上がり。 本人たちは自己犠牲の上でいい事していると思っている、頭のいい人も、本気で！
1011	精神疾患のため、日常生活で、人と付き合い。個室など一定の密空間でお話することが出来ません。息切れ、動機がして苦痛です。PTA 組織と活動があることで子どもを持つこと、出産をやめようかと悩みました。活動自体が希望者などで運営など、選出時に断る際、家庭の事情・個人の病名さえも理由としてあげなくとも選出できる、負担のないものと変わればと切に願います。
	委員、役員選考用名簿に学校の児童の氏名印が使われます。 病気が理由の免除申請は医師の診断書を付けないと一切認められません。 診断書を提出しても免除されなかった人もいます。
1012	自治体の個人情報保護上条例ではセンシティブ情報の収集は禁止されています。 学校諸費としてPTA 会費も列挙されていて、給食費と抱き合わせで銀行引き落としされます。 PTA 予算には毎年同じ額の教育振興費が計上されて学校備品の購入にあてられています。 学校が認めているから出来る事ばかりです。
1013	学校とPTAの馴れ合い、共存を、連携という言葉で誤魔化さないでください。おかしいです。 教育委員会及び学校は、「PTAは任意団体であり、入退会は自由である」ことを保護者へ説明すべきです。
1014	PTAに10 数年加入していますが、退会を検討中です。「PTA が本来どういうもの」で「任意加入」であることは、最近インターネットを通じて情報を得ました。任意という説明を聞いた書類で見た記憶はありません。 現在の多数のPTAは、会員が「任意加入」ということを実質知らずに入っているため、少子化・いじめや人権侵害・病氣・自殺・経済活動の阻害・の遠因/一因となる組織になっていると思います。あいまいな説明(「お願い」含む)が現在行われています。この大前提が個々の会員まで周知・理解されているとは到底思えませんので、署名いたします。

目次

はじめに P1

PTA の入退会自由に関する請願書（本文） P2

ご署名に添えられたコメント P4

当冊子の PDF は、下記 URL よりダウンロードフリーとさせていただきます。ご利用いただけましたら幸いです。
http://www.think-pta.com/signature_activity/download.html